

令和 2 年 第 8 回  
上小阿仁村議会定例会  
会 議 録

令和 2 年 1 2 月 1 5 日 (開会)

令和 2 年 1 2 月 1 7 日 (閉会)

13時20分 再開

○議長（伊藤敏夫） 再開いたします。

○議長（伊藤敏夫） 次に3番 武石辰久君の発言を許します。3番、武石辰久君。

（3番 武石辰久議員 一般質問席登壇）

○3番（武石辰久） まず、前中田村長の道半ばのご逝去に対し、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、命をはってご尽力をなされたことに感謝を申し上げる次第でございます。

このたびは小林村長の再就任、おめでとうでございます。これから大変だと思いますが、力を合わせていけるようによろしくお願いいたします。

1つ目の質問であります。

不在の副村長、監査委員の早期選任の時期と考え方についてであります。空席の副村長は不在が3年近くになるろうとしております。また監査委員は1年10カ年もの不在が続いております。

村の山積する課題を乗り越え、施策を執行していくために早期に選任し、行政を担う職員の意欲向上を図り、村民と行政職員と議会が話し合いや議論の場をもち理解を深め合って村創りを推進していかなければならないと思います。

選挙公約では、「議会の理解を得て、早急に対応する」と述べておりますが、その時期と考え方を伺います。と、12月4日に一般質問を通告しておりましたが、急遽、今日の本会議前の議会運営委員会に本定例会の追加案件として提案されました。改めて村民へ公表するため、村長の考え方を伺います。

○議長（伊藤敏夫） はい、小林村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） 村長が急に不在になり、そして、副村長、代表監査委員がおらない状況の中で、これまで、このようなことはなかったというふうな村の状況の中で、早急なる村の正常化のために立候補させていただきました。運よく信任をいただきましたので、村を何とかして正常化したい、その一心で公約の中にもあげさせていただいた経緯がございます。

そして、公約どおり、いち早く対応しなければならないというふうなことで、議会の運営委員長にお願いをして、今日、午前中に急遽議会の運営委員会を開催していただきながら、17日の最終日に人事案件を追加でお願いさせていただきたいということでの内容になりますけれども、再度、議会運営委員会をお願いをさせていただいた内容について説明をさせていただきたいと思っております。

副村長には、現職の秋田県の職員であります部長級の職員で秋田県議会の事務局局長であります恵比原史氏 59歳の副村長への同意を求める案件となっております。

これまでですと、地方自治体、いわゆる町村の副町長、副村長にいかれる県の現職の職員の場合は、通常であれば、通常と言いだいいのかわかりませんが、これまでも、これまでもあれば、課長補佐級が普通であったそうであり、部長級は多分上小阿仁村が最初であると聞いております。

恵比原さんにおかれましては、私が1期村長のときにいろいろ大変お世話になった方でもありますし、そして北秋田市の出身の方でもあるというふうなことで、そして、知事、副知事からも選んでいただいた経緯がございます。そういう意味で、これから上小阿仁村と秋田県のパイプを太くして、村の事業がスムーズに行くように、そして国との事業がうまくいくように、スムーズに行くように、ぜひとも副村長に、恵比原氏に同意をしていただくようお願いを重ねてお願いをするものであります。

合わせて監査委員につきましては、上小阿仁村の大林におられます鈴木義廣さんの同意をお願いすることで考えております。

鈴木さんにおかれましては、役場職員として、住民課長、議会事務局長、そして総務課長というふうな要職を歴任されまして、これまで、財政も長く担当され、そして、総務課長もされた方で、監査業務につきましては、これまでであれば説明をする側であったわけでありましてけれども、今回、監査をしていただく立場での対応をお願いするというところで考えておりますので、ぜひとも、議員の皆様方のご理解とご協力をお願いして、上小阿仁村のためにどうか同意をしていただくようお願いしたいということでの提案でございますので、どうかよろしくお願いを申し上げます。

○議長（伊藤敏夫） 武石辰久君。

○3番（武石辰久） 不在期間中については、職員が大変苦勞しております。村長は立候補の動きの中で「村民へのサービスの低下は許されない。村民の困りごとを解決し、喜ばれる対応をとるのが役場の仕事である」と述べております。

村三役と監査委員体制を早期につくり、意志疎通を図りながら、職員を含む健康管理と働き方改革、改善を進め、住民目線の親切な対応をしていただき、一体となって元気な村づくりを前進させていただくことを切にお願いいたします。

もしさらに村長の思いがあれば。

○議長（伊藤敏夫） はい、村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） これまで、副村長、監査委員不在の中で、村役場職員におかれましては大変なご苦勞をされたと思っております。

今後、これ以上の苦勞をかけながら住民サービスを続けるというのは、最終

的に住民の方々にご迷惑をかけるというふうに思っておりますので早急なる副  
村長、監査委員の配置、設置によって、就任によって、ぜひとも、職員の方々  
が通常の業務が十分にできるように対応することで、住民サービスの向上にな  
るというふうに確信をしておりますので、どうか、皆様方には宜しく願いを  
申し上げたいと思います。

○議長（伊藤敏夫） 武石辰久君。

○3番（武石辰久） それでは、次に2つ目の質問であります。

若者定住、移住と雇用対策についてであります。

まず1つ目は、もしできますれば、①、②をわけてやっていただければと思  
います。1つ目は前の質問者と関連もありますけれども、よろしく願いま  
す。

1つ目は、村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の計画が平成27年度に策定  
され、進められてきましたが、具体的な成果が低いものとなっております。

地方回帰指向が高まる中、村の重要課題として、定住・移住推進については、  
さらなる魅力の宣伝、情報発信と相談窓口体制の充実や実行施策が必要であり  
ます。

平成30年9月の私の一般質問で、村長は「村の相談体制の充実を推進する」  
と、答弁しております。

ぜひ、その体制づくりを強化し推進していただきたいと思います。近隣自治  
体では、すでに移住の成果が多く出ております。

専門のコーディネータなど外部人材の活用や推進組織づくりが必要なのでは  
ないでしょうか。

推進体制づくりと施策をどのようにしていくか伺います。

○議長（伊藤敏夫） はい、村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） 若者定住・移住と雇用対策についてということで、今年  
度から「第2期上小阿仁村まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートしま  
したけれども、平成27年から進めてきました第1期の反省も踏まえながら移  
住政策を進めてまいりたいと考えております。

ご指摘のとおり相談窓口体制の充実強化は大事であるということで、その方  
向で進むという答弁もさせていただいております。

移住・定住対策につきましては総務課企画班が担当し、全庁横断的に取り組  
んでおります。専門のコーディネータなど、外部人材の活用や推進組織づくり  
が必要ではないかというご質問であります。先ほど河村議員のご質問にお答  
えさせていただいたように、村職員と地域おこし協力隊がチームワークをよく  
しながら、一体となって対応していかなければならないと考えております。

移住・定住に特化した体制づくりは、理想ではありますけれども、本村のような小規模自治体では、圧倒的にマンパワーが不足している状況であります。

体制強化を図るために人材育成に力を入れてまいります。

今後、職員の研修を含め、協力隊の支援を仰ぎながら移住・定住につながるよう粘り強く取り組んでいきたいと考えておりますので、議員各位の提言等含め、よろしくご指導いただきますようお願いを申し上げます。

○議長（伊藤敏夫） はい。武石辰久君。

○3番（武石辰久） 平成28年度からの戦略計画では、第1期目でありますが、平成31年まで、具体的施策の重要指標として、移住者コンシェルジュの育成。移住、仕事についての相談件数を増やす。大学との連携をあげております。

それから、2期目の令和2年度から6年度までの第2期戦略計画では、移住・仕事についての相談件数を増やす。大学との連携事業を増やす。また都市部住民対象の滞在メニュー化。空き家バンクデータ管理。情報発信事業。移住、就業支援事業。地域おこし協力隊の設置事業を行うと計画があります。

成果をあげるためには、本村の優遇、優位性をさらにアピールし、ぜひ、早めに核となる推進体制づくりを強化していただくことを要望いたします。

○議長（伊藤敏夫） 武石辰久君。

○3番（武石辰久） 引き続き2つ目の雇用拡大対策について伺います。

雇用拡大対策については、既存の村内企業、事業所や誘致企業の支援はもちろんです。新たな企業を誘致し働く場を確保していく必要があります。県の調査によると、コロナ禍の中、今までとは違い企業の秋田県へのリモートワーク移住の可能性が多くなってきております。63社であります。また、ワーケーションの実施の可能性85社やサテライトオフィス新設の可能性があったとした企業も多くあります。54社であります。

村長は、企業誘致を進めるとしてありますが、村長前任時、建設のコアニティ（集住型宿泊交流拠点施設）のレンタルルーム2部屋が建設以来、空室のままとなっております。

また、住宅空き家や利用されていない建物、公営住宅等もあります。ぜひ誘致を図って活用できるようし、雇用の拡大を図っていただきたいと思っております。

村長の考えを伺います。

○議長（伊藤敏夫） はい、村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） 雇用拡大対策についてであります。

新規雇用の場の創出が難しい中で、現在実施している雇用対策事業としましては、村で資格取得支援事業費補助金があります。個々のスキルアップを図っていただくことで、就業の機会の拡大や、少しでも有利な条件での就業につな

げていただきたいというものであります。

また、個人事業者支援事業補助金は、新たに特産物の開発等を行う個人事業者等に対し、開発や宣伝広告等に要した費用を補助するもので、村で起業したい方に利用していただきたい制度であります。

村にたくさんあるものや、村にしかないものを利活用することで、新たな企業や事業拡大する業者、誘致企業者の支援をしていくものであります。

村には光ファイバーや貸事務所、公営住宅があります。県が進めているリモートワークの候補地として、先ほども申し上げたとおり産業労働部長にも先日お会いして、村の受け入れ態勢を説明しておりますので、国、県とのつながりを深くしながら、雇用拡大を図ってまいりたいと考えております。

施政方針の中でも少し私お話をさせていただいたとおり、県立大に春から9月までの段階では、遠隔授業でありました。家でパソコンに向かって授業を受けていた状況でありますけれども、上小阿仁村は光ファイバーが整備されていることもあって大変条件がよかったです。かえって大学のほうが、条件が悪いと思うくらい上小阿仁村はよかったです。他の学生方は大変苦勞していた。上小阿仁村は本当に条件がいい。そういう条件のいいところに、今回、リモートワークというふうなことで県知事が一生懸命、日経新聞の一面をさいてPRをしています。そのことについて、県は県で、募集をかけている状況でありますので、受け入れ体制のあるところに優先的に企業を紹介するという状況になっておりますので、上小阿仁村の場合であれば貸事務所がある、公営住宅がある。そして、光ファイバーが整備なっているので、大変条件の整っている地域であるということで県の方には説明をさせていただきながら、他の地域では、これから整備をして準備をしますというところなのですけれども、上小阿仁村はもうすでに整備が終わって受け入れ体制ができていますという状況の中で、県の方にも説明しながら、ぜひ、来る企業があったら上小阿仁にいの一番で紹介をしていただくようにとのこととお話をさせていただいておりますので、ここまで準備をさせていただいたことに対して、議会のご協力があったここまでできていますので、ここから先、今度は、村が一生懸命頑張って企業を誘致したいと思っておりますので、皆様方からもいろんな形でご支援いただきますようによりしくお願いを申し上げます。

○議長（伊藤敏夫） 武石辰久君。

○3番（武石辰久） コアニティーは、木材使用の村のシンボル拠点施設として、県との協働プログラムで平成30年3月完成しておりますが、目的としている多機能多世代交流施設としての活用が発揮されていない状況もあります。

村資源を活用した地場産業の起業、雇用創出やリモートワーク移住等の企業誘致など、起業レンタルルームが利用できるように、今、村長がお話にありま

したように県や関係機関の指導を受け、連携を深めて、村長および三役のトップセールスと共に、足を運んで営業力を高めていただきたいと思います。

まず、相談体制をつくって、さらにそれを進めて実績をぜひつくっていただきたいと思います。

そして、村を担う若者らの雇用拡大に結び付けていただきたいと思います。

村長から答弁があればお願いします。

○議長（伊藤敏夫） はい、小林村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） トップが一番頑張らないと、職員も頑張らないというふうなことだと思います。そして、企業が来る、移住・定住者が現れる、来たいと思える自治体は、やはりトップが、そして担当者が、熱意があるということが一番移住・定住率が高いとお話もありましたので、私が一番一生懸命頑張しながら、1人でも2人でも、そして1企業も2企業でも、企業が村に定住していただくように、移住していただくように頑張らせていただきたいと思いますというふうに思います。

どうか、皆様方には、これまで以上のご指導、そしてご提言等をいただければ、そのことに従いながら、声を聞きながら、提言を聞きながら、それをもとに対応させていただきたいと思っておりますので、ぜひとも、今後ともよろしくお願いを申し上げます。

○議長（伊藤敏夫） 武石辰久君。

○3番（武石辰久） ありがとうございます。大変だと思いますけれども、村長の頑張りに期待を申し上げて、私の一般質問を終わらせていただきます。

ありがとうございます。

○議長（伊藤敏夫） これで一般質問を終わります。

暫時休憩します。

13時49分 休憩